



Make Dreams Real

2008年-2009年RIテーマ **夢をかたちに**

国際ロータリー第2530地区東北第一区
福島南ロータリークラブ

■会 長/廣澤 俊樹 ■幹 事/大野 順道



第29回例会

平成21年1月28日(水) サンパレス福島

■会員/67名 ■出席/42名 ■出席率/62.69%
■メイクアップ/25名 ■修正率/67名 100%

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 ロータリーソング(奉仕の理想)
- 3 四つのテスト
- 4 来訪者紹介と会長挨拶
- 5 ゲストスピーチ(東北第一区ガバナー補佐)
- 6 各委員会報告(スマイル・財団・出席)
- 7 閉会点鐘

会長挨拶

廣澤 俊樹会長

こんにちは。今日は、予定をしておりましたスピーチ内容を変更し、米山留学生の件についてお話しさせていただきます。先日、菅原会員より、「以前当クラブの留学生だった王鴛鴦さんよりクラブ宛にたよりがきております」と一通の手紙を受け取りました。そこには、現在の自分の職場の状況や彼女なりの日中の経済の分析、そして、福島をなつかしむ思いが記されておりました。彼女は宍戸年度の留学生であり、あの時期、中国ではジャパンバッシングの最中であり連日、TVでは中国にある、日本の店にデモ隊が投石をする姿が写し出されておりました。彼女はその当時の情報では市内6クラブからの受入を断られた状況であり、地区の委員長より、打診があったさい宍戸会長と協議をし国籍は問わず、人物本位である事とし面接を行ないました。その際、現状における日本人の中国に対する考え方、ロータリークラブの中にも中国をあまり良く思っていない方もいらっしゃる事、留学生となれば、否応無しに

聞きたくもない話を聞かされるかもしれない事、その他あえて、否定的な話をし、その対応を観察し1時間程の面接の後、宍戸会長と受け入れを決断しました。その後、内外よりどうして中国人を取ったんだと何度となく問われました。彼女は酒席で色んな話をされましたが、私たちの期待を裏切る事はありませんでした。私たちはロータリーの会員です。良く「何、何して来ない」とか「恩を思っていない」とか聞かれますが、たしかに、人としてはそう考えるのが当然。しかし、ロータリーはギブ&テイクではなくテイク&テイクが良いのではないかと考えます。その中で心が通じ感謝の意が表されればうれい事で「奉仕するものは報われる」の報われるは奉仕した相手から何かでは無く自分自身の問題と考えます。これからも人を嫌わず活動をしましょう。

本日のお客様



今日は、東北第一区より平井義郎ガバナー補佐、菅野清一地区幹事がお客様としておこしいただいております。

ゲストスピーチ 東北第一区ガバナー補佐 平井 義郎様

皆さんこんにちは。早いもので半年が経ち新しい年となりました。来年度の理事・役員体制も固まり、この時期どうしても、来年度の話題に気を取られがちだと思います。ロータリーという組織は上手くできていると思います。例えば次年度ガバナーの職務はほとんど目立たないような動きをしています。これは、現体制が主役であるので、その邪魔をしない様、また、現在の理事役員さんの気持ちが緩まないよう、そして会員皆様の気分

が浮つかないようにとの配慮があるからです。良く半分終わった、あるいは後半分などと半分過ぎて全てが終わったような話を聞かれますが、ロータリー活動に終わりは無いと思うのです。会員の立場で見れば、今年も来年も変わりはなく、終わりは無いのです。その年度を担当した理事・役員・委員長等に任期があるだけで単に、連続として続くロータリーライフの中の1年間だけを担っているだけですから、あたえられた責務を全うする事が大切なことなのです。ロータリーの1年間を見て見ますと、7月にスタートして9月頃まではクラブそして地区の各委員会を通しての年度方針の確認と勉強が主な行事になります。2530地区の場合は、10月に地区大会があります。地区大会の目的は「朋友との交流、感銘深い講演と、地区内クラブやRI全般に関する問題の討議によって、ロータリーの綱領を推進することである」と手続要覧には記載されています。この機会を活かして友人を作り親睦を深めロータリーの面白さを体験することが出来るわけです。また11月末までは季節が良いですからクラブの奉仕活動などを実施していくのもこの頃になります。ロータリー活動は半年経ち、年が変わり、正月気分が抜けた頃から本番を迎えると思います。ロータリーの年度は6月一杯ですが、RI会長賞などRI関連の各種表彰関係の締切は3月末というのが多いのです。従って、RI会長賞などを狙おうとする場合、残された期間は現在から見れば3ヶ月も無いという事になります。ここで、今年のRI会長賞についておさらいしてみたいと思います。会長賞の資格を得るためには、クラブは子供の死亡率を低下させる奉仕プロジェクトを実施し、会員増強目標を達成し、さらに要項に挙げられている5つの分野から活動をそれぞれ一つずつ2009年3月31日までの間に完了しなければならないとあります。実施する活動の規模は、クラブ会員の数と能力、そして会員の関心や技能に応じたものにすべきです。クラブがこれらの活動を果たしたなら、申込書に記入し、2009年3月31日までに地区ガバナーに提出しなければなりません。2月頃から5月にかけては、各クラブの周年行事や、関連団体の諸会合も増えていきます。併行して、次期体制の為のPETSや、特協議会なども開催され、ロータリー活動がとても忙しい時期を迎えることとなります。こうして見ると残された時間が本当に僅かであると思います。けれど、まだまだ間に合いますので会員の皆様が力を併せて、今年度のクラブ活動が成功される事を期待いたします。

米山功労者マルチプル

黒羽好夫会員(3回)



今月・来月のプログラム

- 2月18日(水) クラブ協議会
次年度委員会組織発表
- 2月25日(水) 2月28日に振り替えのため休会
- 2月28日(土) IM(二本松かねすい)
- 3月14日(土) 東北第一区新世代会議
13:30~エルティ

編集後記

平井義郎ガバナー補佐からのスピーチでRC活動の一年を実感。
編集担当 川村哲也